

伊奈町新庁舎建設特別委員会

令和3年3月16日（火曜日）

1. 招集年月日

令和3年3月16日(火)

2. 場所

全員協議会室

3. 開会・閉会等時刻

◎開会 午前 10時45分

・休憩 午前 11時02分

・再開 午前 11時02分

◎閉会 午前 12時02分

4. 出席委員名

委員長 永末厚二

副委員長 五味雅美

委員 武藤倫雄、高橋まゆみ、山野智彦、上野克也、青木久男

議長 村山正弘

5. 欠席委員氏名

なし

6. 職務のため出席した事務局職員の職・氏名

事務局長 嘉無木栄 局長補佐 小坂真由美

7. 説明のため出席した者の職・氏名

町長 大島 清

副町長 関根良和

企画総務統括監 藤倉修一、都市建設統括監 安田昌利、企画課長 久木正、総務

課長 増田喜一

開会 午前10時45分

○永末厚二委員長 ただいまから新庁舎特別特別委員会を開催します。

本日、本委員会の傍聴につきまして申出があった場合は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため許可しないことといたします。

審議に入る前に、大島町長からご挨拶をいただきたいと思います。

町長。

○大島 清町長 第5回目になるそうでございますけれども、議会の新庁舎建設特別委員会ということで開催をいただきまして、本当にありがとうございます。

つい先日、3月12日でございますけれども、役場の職員を中心とした庁議というかたちで最後の事務局原案を一応つくらせていただきましたので、ご検討賜りたいと思っております。

もとより、行財政改革推進会議というところに、この庁舎建設についてどういうものが一番いいのかということをお聞きさせていただきました。その中で答申いただいたわけですが、4つほど基本方針が示されたわけでございます。

一つは、町民にとって魅力あるしっかりとした庁舎をつくってほしい、町民にとってすばらしいものをぜひつくってほしいというのが大きなテーマの一つでありました。2つ目は、災害に大変強い、いわゆる災害のときに一つの拠点としてしっかりと町民の皆さん方を受け止められる施設をつくってほしい。3つ目として、環境に優しい庁舎をぜひつくってほしいということでございました。そして4つ目が、伊奈町の文化、歴史、そういうものをしっかりと受け継いで、庁舎の中にもそういう雰囲気を出したものをつくってほしいという、そういう答申がされたわけでございます。

その答申に沿って、事務局としてもしっかりと形のものをつくろうということでの原案をつくらせていただいたということでもあります。とはいうものの、非常にお金がかかるわけですので、最小の予算で最大の効果を発揮できるようにと思っております。

そんな中で、議員の皆さん方のご意見をいただきながら、さらに町民にとって一番いい庁舎をつくっていきたいという思いでございます。ご意見を賜りまして、初期の目的が達成できますように心からお願い申し上げまして、挨拶とさせていただきます。

どうぞよろしくお願い申し上げます。

私、もちろん出席させていただきますけれども、本当は全部出たいんですけれども、この後、来客の予定があるということもありますので、外すことがあるかもしれませんが、よろ

しくお願い申し上げます。

以上でございます。

○永末厚二委員長 ありがとうございます。

それでは、審議に入ります。

最初に、新庁舎に係る進捗状況について、執行部より説明をお願いします。

総務課長。

○増田喜一総務課長 よろしくお願いします。

会議を始める前に資料確認をさせていただきたいと思います。よろしくお願いします。

資料番号1としまして、A3カラーの横で、こういう数字と表になっているものがございます。次に、断面図と上空からの平面図があったA3のものがございます。

資料番号2としまして、A4横ですが、白黒のLCC、コスト比較した表がございます。

それと、資料番号3といたしまして、この庁舎の老朽化の状況など写真を撮ったものがございます。お手元にありますでしょうか。

それでは、新庁舎の建設に係る進捗状況というところでご説明させていただきます。

今、町長からお話がありましたとおり、先週、庁議を開きまして、町の方針につきまして決定させていただきました。

当初、答申に基づきまして、東庁舎につきましては有効活用を検討してまいりましたが、前回も少しご説明させていただきましたけれども、東庁舎を残した場合と残さなかった場合とでかなりコストが違うということが明らかになりましたので、町といたしましては、ここで方針転換させていただきまして、東庁舎の活用ではなく、東庁舎も解体しまして、北と東庁舎、両方解体し建て替えをするという方針を少し見直させていただいたところがございます。その背景といいますか、根拠といいますか、理由につきまして、進捗状況ということで説明させていただきますので、よろしくお願いいたします。

まず、この資料1とありますカラーのA3横の資料をご覧いただきたいと存じます。

こちらの資料につきましては、町の総務課でこの新庁舎の基本構想、基本計画を委託しております日本設計というコンサルタント会社と打合せをして作成したものでございます。資料の左側に数字が、右側に表として数字が出ているんですけども、その単価設定の根拠が左側の表のとおりでございます。

例えば、上から5個目ですね、新築というのがありますけれども、これは他の最近の市町村の設計単価、平米単価というのを調べまして、大体平米45万円、プラス消費税というところ

ろで、このくらいの単価だとしたらというところで、例えば、数字を算出しております。

もう一点、例えば、その1つ下に東庁舎の修繕とありますけれども、これは、国で一般的な公共施設を修繕した場合に、前回のときに申し上げましたけれども、単価が示されておりました、これが平米25万円でございますので、もし東庁舎を修繕したとしたら、面積掛ける単価でコストを算出しております。その根拠がこの単価でございます。こちらにそういった単価がございます。

それで、総務課では、A案といたしまして、従来の答申に沿った形で東庁舎を活用した場合というところと、もう一つ、B案が2つございます。その違いは、B1案につきましては、東庁舎を残して建て替えを考えた場合に、新庁舎の面積が、表の図面の一番上のところですね、左側の項目というのを見ていただきますと、新庁舎の延べ床面積とありますが、A案では9,500平米、新しい建物は9,500平米と設定しましたので、それと同じように、B1案は同じものを建てた場合。ただ、東庁舎を有効活用できなくなりますので、この東庁舎部分の面積が少し足りなくなりますので、最低限でもう少し必要面積を足したものがB2案ということで、面積が1万550平米となっております。ここが変わっているところでございます。

それで、若干繰り返しになりますけれども、現在の庁舎につきましては、北が2,067平米、東が2,936平米で、北と東足しまして5,300平米が延べ床面積でございます。それに若干、車庫とか書庫などもございまして、大体使っているのが5,365平米でございます。

それで、もう一つ、今、A案とB1案の9,500平米と申し上げましたが、これも仮の設定でございますが、これの内訳でございます。現在の事務スペースが約5,300平米程度なんですけれども、こちらでは事務スペースを6,300平米とさせていただいております。防災センター機能を200平米、複合化する図書館を2,000平米、交流スペースですとか多目的に使える、そういったものも1,000平米、余裕スペースという意味で見まして、合計9,500平米と設定して、9,500平米とさせていただいております。

B2案ですけれども、この9,500平米に加えまして、複合化するということで、保健センターを600平米、児童館を400平米、観光協会を50平米としまして、今の3つを足しますと1,050平米になるんですが、9,500平米に1,050平米を足しますと1万550平米となりますが、そう設定をした場合の大きさがこの面積になるというところで、先ほどの左側の表の単価を用いまして積算させていただいております。

まず、表をご覧くださいなんですけれども、黄色い帯がございますが、下から数えていただきますと黄色い帯の2つ目ございまして、これが建設費の合計でございます。これは、

新庁舎を建てたり改修したり、移転費用。仮設はございませんのでゼロですが、そういったものを足しますと、A案では、建設コスト及び東庁舎の修繕コスト、そういったものを足しますと75億5,000万円になります。

B1案ですと東庁舎も壊してしまいますので、東庁舎の修繕のコストが大きくかからなくなるというところがございまして、53.3億円ということで、A案よりも20億円以上コストが少なくて済むと。

B2案につきましては、少し建物が大きくなりますから新庁舎の建設コストは上がりますけれども、それでも庁舎の修繕がありませんので、61.9億円ということでA案よりは13億円ほど安くなっているというところで、どちらにしましても、東庁舎を残すよりも建て替えてしまったほうがコストは低いというものでございます。

なお、東庁舎の建設なんですけれども、まずは9,500平米の新庁舎を建てます。A案の場合は、東庁舎が残るんですが、既に築40年ほどはたっておりますので、この10年後、もしくは20年後ぐらいにこれの建て替え問題が出てくるということで、これも、設定ですけれども、同規模程度に建て替えた場合というところで計算させていただいております。

黄色い帯が2つありますが、一番下の黄色い帯のところなんですけれども、今申し上げました建設コストと20年間のLCC、維持管理コストを足し込みますと、やはりA案よりもB1案、B2案が、維持管理費も含めましてもコストはA案よりも低くなってございます。これがまず一つ、1点でございます。

資料が小さくなって申し訳ありませんが、先ほどのA4横のものをご覧いただきたいと思っております。

こちらは総務課の業者ではなくて、企画課で今年度、各公共施設の個別施設計画という業務委託をやっておりまして、その受託会社トーマツというところが、役場庁舎につきましても、やはり建て替えた場合とそうでない場合のコスト比較をしたものでございます。

両面になっておりまして、裏面で条件というのがありますけれども、先ほどのA3のものとは数字の単純比較ができない点はご了承ください。といいますのは、業者が違うものですから設定条件が違いますので、詳細な数字は比較できません。こちらのA4では、先ほどA3は新築の場合、平米単価45万円と申し上げましたけれども、こちらでは40万円ということで、まず建設コストの単価設定が異なっておりますので、その点はご了承ください。

資料2と書いてある表面をご覧いただきたいんですけれども、A案とB案ございまして、上段のA案は、北庁舎は建て替えて、東庁舎は長寿命化すると。ただし、先ほどの資料と同

様に既に築40年程度たっておりますので、10年、もしくは20年以内にその残した東庁舎も寿命が来ますので、建て替えた場合ということで試算しております。

B案につきましては、北庁舎、東庁舎同時に建て替えというところで計算したものでございます。それで、このA4の資料につきましては、A案については少し分かりにくいんですが、ポツが2つあるんですけれども、最初に東庁舎を建て替えて複合化施設とすると。その場合の建てる面積を3,965平米と設定している点が、先ほどのA3とは違います。

なお、括弧書きの数字が表の中にありますけれども、これは、下のB案では新庁舎の建てる面積を6,901平米と設定して計算しているんですけれども、それに合わせた場合となっております。そこは少し括弧書きがあるところの分かりにくい点でございますけれども、そういう点と、東庁舎は先ほど申し上げたとおり、また10年後、20年後、躯体の耐用年数が来ますので、大規模改修が必要となります。そのときに建て替える面積は、現在と同じ2,936平米として建て替えた場合という設定になってございます。

下は、そもそも北庁舎と東庁舎を同時に建て替えてしまいますので、建て替える面積は、先ほど申し上げました6,901平米と設定しました。その内訳は、その表のところにありますけれども、北庁舎と東庁舎は今の大きさのまま、加えて、旧新都市建設事務所分と図書館と公民館と保健センターを入れた場合が6,901平米になりますので、仮にこういった機能を入れて複合化した場合、面積は6,901平米になりますよと。これで計算すると、B案では、右下になりますけれども、合計が49億8,400万円となっております。

A案の合計のところを見ていただきますと、2段書きになっておりますが、これは、北庁舎を建て替えて、その大きさが3,965平米、小さく建てた場合は57億円、B案と同様に6,900平米と大きく建てた場合は76億円となっております。いずれもB案の49億円と比較しますと、小さく建てても7億円程度、大きく建てると27億円程度コストがかかるとなっております。

なお、こちらのA4の資料なんですけれども、先ほどのA3の資料では、維持管理コスト、LCCを20年で計算しておるんですが、こちら同じ設定ではなくて35年で計算させていただいておりますので、維持管理コストにつきましても先ほどの表とは簡単には比較ができませんけれども、ただ、先ほどのA3の資料でもこのA4の資料でも、東庁舎を残して2段階で建て替えた場合よりも、B案のように北庁舎、東庁舎を同時に建て替えたほうが、建設コスト、また、加えて維持管理コストも加えてもコスト的には安く済むというのが、それぞれ違う業者の試算で明らかになりましたので、この資料をもちまして庁議に説明させていただ

だきまして、町的意思決定を少し修正させていただいたところでございます。

○永末厚二委員長 暫時休憩します。

町長ご退席です。

休憩 午前11時02分

再開 午前11時02分

○永末厚二委員長 休憩を解いて会議を再開します。

総務課長。

○増田喜一総務課長 A3でご説明したい点がありまして、A案の下から8項目に東庁舎の修繕とございまして、8.07億円というのがございます。これは東庁舎を残した場合に、東庁舎にどれだけお金がかかるんだというところで計算している金額になりまして、その根拠は、左側の設定にございまして、平米25万円で計算するとこのくらいの数字になりますと。

A4の白黒の表でも、A案に改修ということで8.25億円入ってございます。これも少し面積設定が異なりますが、同じように国のこの25万円というのを使って出したものと伺っておりまして、8億円ぐらいかかるという、これが非常にA案とB案の差を生んでいる大きな部分なんですけれども、資料3としまして、実際に国の改修経費の数字で計算するとこのぐらいだということをそれぞれの業者から指摘を受けたところなんです、これを受けまして、総務課でも幾つか庁舎の中を調べさせていただきました。

例えばなんですけれども、この建物には電気設備がございまして、受変電設備がございまして。これの中に変圧器とかかなり大がかりな設備が入っておりますけれども、こちらの耐用年数が一般的には15年から20年ということなんです、いずれも25年ぐらいたっておりまして、電気保守業者からは、そろそろ改修をしないと電気系統のトラブルにつながるというような指摘を受けているというのが一つございます。

また、裏面にめくっていただきますと、機械設備というところで、例えばなんですけれども、空調設備でございます。北庁舎につきましてはもう築50年近くたつんですが、1度、平成8年頃に空調機器の入替えをしております、上と下の写真を見比べていただきますと、上が実は新しいんですね。

こちら側の東庁舎につきましては、建設当時のもので一切まだ更新していない状態で

ございまして、もう35年以上たっておりまして、時々ご迷惑をかけていることもありますが、夏のときにクーラーが故障したり、冬場、暖房が入らなかつたりということがあるんですけども、それはやはりこの設備が老朽化しておりますので、さらにこの東庁舎を10年、20年使うとなりますと、この辺の機械設備につきましても更新しないとなかなか建物の機能として厳しいというのが、やはり空調管理業者から指摘を受けております。

その下に、バケツが写ってるんですけども、住民課の上なんですけれども、雨漏りであったり、空調の冷房を入れますと結露であったり、水が出るんですけども、配管がさびているようで、うまく流れなくて途中で漏れてしまうと。それで雨漏りというか水が垂れてきてしまうので、バケツを置いて対応し、その結果、天井に染みが何か所かできているというような状況がございます。

もう一枚めくっていただきますと、屋上の状況なんですけど、これは東庁舎の屋上でございまして、建築後、屋上の防水シートですね、これの交換といいますか、改修をしておりませんので、防水シートが劣化し、結果、雨漏りですとかそういったものが多発していると。

この左下のものが全員協議会室の写真なんですけれども、右前の上に点検口があるんですが、そこから台風の時などは結構雨漏りがしております。水色のものが見えますが、実は天井にバケツが置いてありまして、台風とか大雨のときはそれで対応していて、職員が定期的に水を捨てているという状況でございます。

あと、これは3階のトイレなんですけど、先日タイルが剥離してしましまして、事故にはつながらなかったんですが、緊急に修繕いたしましたけれども、そういったところも結構傷んでいるところが多くて、見積りを取りますと、逆に計算上では8億円程度、両社とも出ているんですが、それ以上にいろんな設備更新とかをするとコストがかかるんじゃないかというところで伺っておりますので、それぞれの資料にあります東庁舎の改修コスト8億円というのは、大げさな数字ではなくて、むしろ少ないぐらいではないかというのが担当の受け止めでございます。

そういったことから、町といたしましては、答申に沿って東庁舎の有効活用という方針で進めてまいりましたけれども、ここで北庁舎、東庁舎を同時に解体し建て替えをするとさせていただきます。その根拠が、今説明した部分でございます。

続きまして、引き続きもう一つ、このA3のこちらなんですけれども、では、イメージとしてどうなるのか説明させていただきます。

これも案でございます。あくまでも断面図、平面図ともイメージでございますので、ご了承

解いただきたいと思います。

5階になっていますけれども、総5階ではなくても面積的には済むのかなと思いますし、建て替え方によっては4階になったりもう少し増えたりということも考えられますが、イメージとしてはこのような感じでございますというところはご了承ください。

これは、先ほどコストで説明しましたB2案のパターンでございます。概略を説明させていただきますと、最初に下段に数字が入っておりますが、これを説明させていただきます。

新庁舎では、先ほど申し上げましたとおり、行政機能として6,300平米、防災センター機能も200平米で設けますので、ここが6,500平米、複合化する部分といたしまして、図書館といますか、そういった部分で、仮ですけれども、2,000平米ほど、保健センター、児童館、観光協会をそれぞれ設定いたしまして、またその複合化ですとか交流スペースですとか、いろいろ多目的なホールをつくるか、そういった部分を仮に1,000平米と設定いたしますと、先ほど説明したとおり、新庁舎の大きさは1万550平米ほどとなると設定しております。決定ではございません。この後、また少しブラッシュアップといますか、精査すると大きさが変わるのかなと思いますが、計算上、今は1万550平米とさせていただきますと、その根拠がこの表のとおりでございます。

また、使い勝手というところも考慮しまして、例えば車庫ですとか倉庫、また防災品の備蓄倉庫ですね、こういったものも必要だろうということと、シルバー人材センターの事務スペース等いろんな作業道具もあつたりしますので、やはり物置みたいなものも必要じゃないかということで、プレハブのような別棟を横に造らせていただきまして、これの大きさが延べ床で750平米程度ということで考えてございます。

その上で、上の図面を見ていただきますと、庁舎といたしましては水色の部分が事務スペースでございます。それで、あくまでもこれはイメージでございますけれども、住民の方と交流できるような多目的なスペースも考慮した上で、図書館ですとか保健センター、児童館などが同じ建物に入って複合化すると。そういうことで、休みの日でも、例えば児童館へ来たお子さんが図書館で児童書を読んだりとか、保健センターで健診に来たお母さんが少しの待ち時間の間、児童館で過ごしたりとか、そういうふうに少しお子様とか図書館を利用される方とかが交流できるような、また、交流スペースを使うことでいろんな生涯学習活動ですとかそういったものもできるようなということで、にぎわいが生まれるようなということで、新庁舎の複合化する機能といたしましては、図書館、保健センター、児童館、観光協会、こういったものを入れて複合化したいと考えております。

あわせまして、先ほど申し上げました倉庫部分にシルバー人材センターを配置することで、災害物資も置けますし、シルバー人材センターのいろいろな道具も収納できるということで、連携ができるのではないかとこのところ、一つ課題となっておりました庁舎の複合化につきましては、こういった図書館、保健センター、児童館、観光協会などを取り入れることでにぎわいが生まれ、いろんな方が役場に来ていただいて、用事が一遍に済んだり多機能に使っていただいたりということで、にぎわいが生まれるような仕組みとしまして、こんなようなものとして細かい構想ですとか計画に取り組んでまいりたいとさせていただきたいと思っております。

最後までとまりませんが、現在の新庁舎の進捗状況につきましては以上でございます。

○永末厚二委員長 ただいまの説明に、ご質問はございますか。

上野克也委員。

○上野克也委員 再確認なんですけれども、このBの2案で、こちらに平面図がありますよね。

これは新庁舎と別棟という部分で、2つ、簡単に言えば造るということですか。この別棟にシルバー人材センターだとか倉庫だとか車庫を新たに造るという感じですか。

○永末厚二委員長 総務課長。

○増田喜一総務課長 そのとおりでございます、やはり倉庫とか物置というのにも必要ではないかと。防災倉庫もそこに一緒に置きたいと。シルバー人材センターは道具がかなりたくさんあって、作業されたりするということもあるので、別にしたほうが仕事はやりやすいんじゃないかということで、この配置もまだ決定ではございませんが、お話のとおり、本庁舎と倉庫兼別棟みたいな形でこういう考え方で進めていきたいということでございます。

○永末厚二委員長 山野委員。

○山野智彦委員 お願いします。

町の方針の決定という部分をもう少し明確に、どこまでが決定事項になったのかということをお教えいただけますか。

○永末厚二委員長 総務課長。

○増田喜一総務課長 2点ございまして、1点目は、これまでは東庁舎の有効活用という方針で進めてまいりましたけれども、こういうコスト比較を根拠にいたしまして、北庁舎と東庁舎を同時解体で新庁舎にするという点が1点でございます。2点目が、この資料のとおり、複合化するものとしたしまして、図書館、保健センター、児童館、観光協会、これを新庁舎に取り込むことで、にぎわいづくりですとか新庁舎のコンセプトに沿ったものとしていき

い。この2点でございます。

○永末厚二委員長 山野委員。

○山野智彦委員 そうすると、別棟に何を入れるかというのはまだ未決定という理解でよろしいのでしょうか。

○永末厚二委員長 総務課長。

○増田喜一総務課長 現時点で、別棟はシルバー人材センターも入りますが、むしろ中心は防災倉庫ですとか車庫、倉庫、こういった機能を別棟、プレハブに機能として持たせたいという決定でございます。

〔「そこまで決定ということですか」と言う人あり〕

○永末厚二委員長 総務課長。

○増田喜一総務課長 ただ、シルバー人材センターなどについてはまた個々に協議をしまして、使い勝手ですとかそういったところで、少し見直す部分はあるのかなと思います。

○永末厚二委員長 山野委員。

○山野智彦委員 商工会の扱いについてはどのような形になるのでしょうか。

○永末厚二委員長 企画総務統括監。

○藤倉修一企画総務統括監 あくまで町の決定事項というところは、先ほど総務課長からお話させていただきました2点が決定ということです。この後、シルバー、あるいは商工会というお話の部分でございますが、相手のある部分でもございますので、この後の協議の中で進んでいくという形になります。ただ、決定しているのは、庁舎の中にそれらの施設が入ることではないという原則でご理解いただければと思います。

○永末厚二委員長 武藤委員。

○武藤倫雄委員 今回、こうして仮定ではありますが、面積と、あと建築費、出していただいて、議論のたたき台が、青木委員も第1回から求めていったところが進んできたというところで喜ばしいなと思います。

この仮説に基づいての話にはなるかとは思いますが、一番決定に沿っているB2案ですね。建築費の約62億円についての実現可能性を一応確認したいんですけども、この62億円の財源計画といいますか、その辺というのは当然今の予定想定にはなると思いますが、今現時点で考えられる範囲の実現可能性をお答えいただければと思うんですが。

○永末厚二委員長 企画総務統括監。

○藤倉修一企画総務統括監 費用の分につきましては、もうあくまで仮の数字を置いてあると

いうところでご理解いただければと思ひまして、また、面積も含めまして、金額的な部分については今後の精査が必要になる部分だと考えております。

○永末厚二委員長 武藤委員。

○武藤倫雄委員 仮に方向性が確定した場合に、十分実現可能性のある金額ということで考えていらっしゃいますか。

○永末厚二委員長 企画総務統括監。

○藤倉修一企画総務統括監 この後、庁舎についてどのような手法になるかというところも含めて、今後の課題の部分になるかと思ひます。あくまで通常どおり、従来どおりの建て方をするかということも含めて検討していく部分になるかなと考えております。

○永末厚二委員長 武藤委員。

○武藤倫雄委員 しつこいようですみません。

財源検討で頓挫することもあり得るということ、いろいろ議論を固めていっても、最後の最後、財源検討で頓挫というか、また方向転換を余儀なくされるということもあり得るということでもいいんですか。

○永末厚二委員長 企画総務統括監。

○藤倉修一企画総務統括監 新庁舎の建設ということで頓挫するということはないと考えておりますが、現在のコロナの状況等も含めて、財源的な部分はもう少し慎重にという部分が出てくるかと思ひます。

したがいまして、建設費自体が本当にこの金額でやれるかどうかというのは、今後のブラッシュアップの部分があるかなと。場合によっては、もう少し費用的な面が課題になることも想定されるところで、あるいは、もっと逆にコロナというところでスペースの問題等、そういうものをどうするかというところも議論になってくるのかなと考えているところでございます。それによりまして、少し財源的な部分、あるいは規模的な面も再度詳細を検討する必要が出てくることはあると考えております。

○永末厚二委員長 武藤委員。

○武藤倫雄委員 そうしますと、整理させていただきますと、今現在は、この規模、この建築費用をたたき台にしてこの特別委員会は議論を進めてよろしいということになりますか。

○永末厚二委員長 企画総務統括監。

○藤倉修一企画総務統括監 先ほど武藤委員がおっしゃったとおりで、たたき台を示したというところでのご理解をいただいで進めさせていただければと考えております。今まで、青木

委員からも言われていたんですけれども、何も全体のお示しをしていなかったの、ちょうど共通のたたき台をまずお示しさせていただいて、ここからスタートして議論を深めていきたいというのがこちらの考え方ということでご理解いただければと思います。

○永末厚二委員長 青木委員。

○青木久男委員 B案というか、東庁舎は解体ということは私もいいかなと思うんですね。

それで、費用がこれはどうかという金額がここにずらっと載っているの、現実的なのかなというところ、やっぱり私も思うんですね。それで、やはり近隣との状況で、例えば桶川市は、うちはそんなにかからなかったよ、だけれども、いい建物ができたでしょうと。我々もそう言いたいんですよね。お金をかけないでいいものをつくったよなということですね。ですから、どうなんでしょう。私は桶川市を拝見させていただいて、新しいですから、桶川市役所は随分我慢していたんですね。ですから、そういう後でいいものができたというので喜びもひとしおかと思うんですけれども、近隣のところと比べただけでも高いのかなということがあります。

それから、もう一点、こういう新庁舎で東庁舎を建て替えるということですから、B1案かB2案になると思うんですけれども、いわゆる行政スペースですね、今のこの北と東で使っている行政スペースと面積的にはどのくらいの違いがあるのか、伺いたいと思います。

あと、参考までに、何回も聞いているんですけれども、近隣の費用をお願いします。

○永末厚二委員長 総務課長。

○増田喜一総務課長 まず、近隣の庁舎の平米単価、調べさせていただいておまして、桶川市が2016年に発注で、平米単価、税抜きでございます、36万5,000円ぐらい。深谷市が最近建て替えられたと伺ってまして、2018年に工事入っているんですけれども、税抜きで49万8,000円ぐらい。あと志木市が、多分令和2年から着工されているのかなと思うんですが、報道によりますと税抜きで45万7,000円ぐらいでございます。最近の、桶川市はちょっとあれなんです、志木市ですとか県内の深谷市などの単価を見まして、先ほど申し上げましたとおり仮の設定でございますが、新築に当たっては、この積算は税抜き45万円ぐらいというところで試算したものでございます。税込みですね。

面積ですね。現在の役場庁舎の北と東を足すと、単純に約5,000平米ぐらいです。倉庫とか裏に車庫とかもあるんですけれども、足して5,300平米程度です。現庁舎は手狭でございますので、また相談スペースなどありませんので、案の事務スペースは6,300平米と設定させていただいております。これも仮でございますが、現在よりプラス1,000平米ぐらいを見

込んでおります。

加えまして、多目的に使える交流スペースみたいなものを余裕スペースとして、今は1,000平米ぐらい盛り込んでございまして、図書スペースですとかをいろいろ考えまして、1万550平米とB2案ではなっております。

○永末厚二委員長 青木委員。

○青木久男委員 これから人口がそんなに増えるものではないかなと思うので、この事務の面積ですね。交流とかは別として、今職員の方が使っている面積にプラス1,000平米ということなんですけれども、やはりもう少し余裕があったほうがいいというような感じなんですか。かえて減らしてもいいんじゃないかというような考えもあるんですけれども。

○永末厚二委員長 総務課長。

○増田喜一総務課長 もちろん精査していく部分でございしますが、東庁舎1階などを見ていただきますと、福祉課も住民課も、職員の事務机、キャビネット、パソコン台とか、かなり手狭になっていまして、しかしながら業務量は増加しておりますので、時間外なども多い状況でございまして、職員の増員希望は出ておりますけれども、なかなか座るスペースも増やせない状況です。

また、一番の問題といいますか、申し訳ないと思う点は、通路ですね。これが狭くて、この時期は結構、転出入の方も多く役場にたくさんの来庁者がいらっしゃるんですが、待合スペースがちょうど廊下の真ん中にソファがありますけれども、座ってしまうと、つい立てなんかも設置している関係もございしますが、通行に、よけていただかないと通れないとか、まして車椅子の方が見えたりしますと少しご不便をかけているような状況もございまして、そういった空間といいますか、スペースはもう少し広げたいなというのもございまして。

○永末厚二委員長 青木委員。

○青木久男委員 分かりました。

このB1案というんでしょうかね、この図面を見ますと、B2案には別棟があるんですけども、そこに入るようなシルバー人材センターとかありますよね。さっき脇にプレハブみたいなのをという話なんですけれども、場所的にはどこら辺を頭に入れているんでしょうか。

○永末厚二委員長 総務課長。

○増田喜一総務課長 B2案は、A案と同じ面積で新庁舎を建てた場合という設定でございまして、もしこの大きさをやっただとしても、倉庫とかそういったものはやっぱり必要だと思いますので、こちらのA3の図面のようにそういったものを、別棟を設置するようになるのか

などと思いますが、同じ面積で設定した場合がB 1 案の例でございます。A 案と同じ新庁舎の面積でそろえて検討した場合という設定でございます。

○永末厚二委員長 青木委員。

○青木久男委員 B 2 案は別棟でしっかりした2階建てということですが、そのB 1 案だとどこら辺にそのプレハブを造るんですか、この場所の。

○永末厚二委員長 総務課長。

○増田喜一総務課長 B 1 案につきましては、シンプルにA 案と同じ新庁舎の同じ大きさの建物を建てた場合のコスト計算ということでございますので、この表のとおりで別棟はございません。

しかしながら、多分、委員おっしゃっているとおり、もしB 1 案のような大きさの建物を建てたとしたとしても、別棟みたいなものは検討しないといけないものかなと思いますが、このA 案であくまでも9,500平米の新庁舎を建てた場合という例の設定でございまして、そこまで記載が入っておりません。

以上でございます。

○永末厚二委員長 青木委員。

○青木久男委員 分かりました。

以上です。

○永末厚二委員長 ほかにございますか。

副委員長。

○五味雅美副委員長 今の話ですが、B 1 案は東庁舎を解体するわけですが、その面積は入っていないということですか。

○永末厚二委員長 総務課長。

○増田喜一総務課長 A 案でもB 1 案でも、新築する新庁舎の面積は9,500平米でございまして、今の北庁舎と東庁舎の面積が倉庫なども含めまして約5,300平米ぐらいですので、そういったものは入って、考慮して建てると9,500平米程度と考えておりますので、そういうことになっています。

○永末厚二委員長 副委員長。

○五味雅美副委員長 分かりました。要は、今の面積はカバーしているということですね。東と北、合わせたものが。それで、B 2 案については、それに幅を持たせて広くしたと。分かりました。

それと、先ほど仮に商工会はもう入らないと、庁舎内に入らないという話だったんですけども、それはどういう考えなのでしょうか。

○永末厚二委員長 企画総務統括監。

○藤倉修一企画総務統括監 当初、商工会等については、東庁舎の空いたスペースにという検討も中にはございました。しかしながら、今回、東庁舎を撤去するという決定をいたしましたので、商工会の部分につきまして、また新庁舎についても、商工会が入るということは現在の決定からはございません。

商工会につきましては、場合によってはでございますが、保健センターをこちら側に移転させる、児童館も移転させるという形でございますので、総合センターの一部スペースに空きが出るかと思えます。そちらに、場合によってはその商工会の受入れというか、スペースが可能かどうかという検討を行うことになると思えます。

○永末厚二委員長 副委員長。

○五味雅美副委員長 分かりました。

その総合センターの老人福祉センターは、総合センターに残すということですか。

○永末厚二委員長 企画総務統括監。

○藤倉修一企画総務統括監 老人福祉センターについてはそのままという形でございます。

○永末厚二委員長 副委員長。

○五味雅美副委員長 そのほうがいいということなんですかね。

○永末厚二委員長 企画総務統括監。

○藤倉修一企画総務統括監 保健センターといいますか、町の機能といたしましては、今ある健康増進課の部分が今、別になっておりますので、一つの拠点として集約したほうが町民の皆さんも使い勝手がいいのではないかと声があったので、町の施設といいますか、町の窓口の集約化を図るといのがまずこちらの方針になるかと思えます。したがって、老人福祉センターを統合するということは、今回の検討では入っていないという形でございます。

○永末厚二委員長 五味副委員長。

○五味雅美副委員長 逆に言えば、健康増進課は向こうのままということ。違いましたか。

○永末厚二委員長 企画総務統括監。

○藤倉修一企画総務統括監 すみません、ちょっと説明が不十分で。

今、総合センター側にある健康増進課につきましても、新庁舎に移動させて、一つの庁舎

の中に統合するという形でございますので、今、窓口に来て、例えば母子手帳とかだと総合センターに行ってくださいというようなご案内をしなければいけないような状況ですが、そういったものも含めて、健康増進課、保健センターを入れるということで一つにできないかというところの検討でございます。

○永末厚二委員長 副委員長。

○五味雅美副委員長 分かりました。だから、保健センターがこっちに入りますから、健康増進課と一緒になるということですよ、こっちの新庁舎で。だから、それはいいんですが、だから、老人福祉センターは向こうで問題ないのかということなんですけれども。

○永末厚二委員長 企画総務統括監。

○藤倉修一企画総務統括監 特段問題はないと考えておるところでございます。

○永末厚二委員長 副委員長。

○五味雅美副委員長 分かりました。

○永末厚二委員長 上野克也委員。

○上野克也委員 新庁舎と別棟のB2案で、建設費が大体62億円ぐらいというものをベースにこれからたいていくわけなんですけれども、世の中の動きが脱炭素だとかコロナだとかという部分で、いろいろITの先進技術だとか太陽光発電だとか、もうすごい設備をしなくちゃいけないといった場合、上限のマックスは大体どの辺まで、いろいろ積み上げていったときに、今62億円ぐらいですけれども、この庁舎の建設を断念するか進めるというマックスの予算というのはある程度、例えば80億円ぐらいまではいいよとか、そういう概算的なものは、これから設計に入って設備を積み上げていったときにどんどん行っちゃうと思うんですよ、最初は。そのマックスというのほどまでという、一応抑えみたいなものは何か費用的にはお持ちなんですか。

○永末厚二委員長 企画総務統括監。

○藤倉修一企画総務統括監 委員の皆さんの費用に対する感覚、高いんじゃないかとかそういう費用のご心配いただいている感覚というのはすごく大事な部分だと思いますし、それをしっかりと考えていかなければいけないと受け止めたいと思っております。

また、今、上野委員のおっしゃられた環境の部分であったり、カーボンゼロとか、カーボンニュートラルという考え方であったり環境面の取り入れというのは、これから建てる新庁舎については非常に重要なフレーズになってくるのかなと思います。

したがって、その部分だけを捉えて幾らを上限にするかというよりも、どんな庁舎を

つくるか、どんな庁舎をつくって今後残していくかというところは、第一に考えていく部分かなと。その後で今度は、費用に応じてどれをそぎ落としていくかという考え方をしていく、そのたたき台が今回の資料になればと考えているところでございます。

すみません、答えになっていないかもしれませんが、そのようなことでご理解いただければと思います。

○永末厚二委員長 上野委員。

○上野克也委員 今後、そのカーボンニュートラルだとかいろんな部分で、もしそういうものを行った場合、国からの補助的なものというのは何か、出てくるかどうか分かりませんが、そういうのはアンテナ張ってキャッチするようによろしく願います。

○永末厚二委員長 山野委員。

○山野智彦委員 費用の面でもう一つお尋ねなんですが、今のお話を聞いていても、これをマックスにあと幾らそぎ落とすかみたいな発想のように聞こえるんですけども、この新庁舎に入れるものの中身を見たときには、これはもうほとんど民間が建物にPFIとかで入ってくる余地がもうないように見えるんですけども、そのあたり、民間活用についてはどういう可能性があるとかないとか、どういう見解でおられるのでしょうか。

○永末厚二委員長 総務課長。

○増田喜一総務課長 ただいまのご質問なんですけれども、以前も説明しましたけれども、今年度、総務課ではこの新庁舎の基本構想、基本計画業務をやっておりまして、その中にそのPFIについても検討しております。ここで方針といいますか、何が入るといいうのも明確になってきましたので、これを基にこの後、PFIの実績のある業者に何社かにお願いしまして、サウンディングというんですか、質問させていただいて、実際の業者の受け止めというのはどうなのかということも調査します。もちろんプランが明確になりましたので、VFMについても算出した上で、数値を見た上で業務委託の中で検討することになっておりますので、委託期間を延ばしていただきましたので、その時間を使わせていただきまして検討する考えでございます。

○永末厚二委員長 山野委員。

○山野智彦委員 民間が入ってくると、一旦、町の負担が軽減できるというメリットが大きいんだと思うんですけども、なので、そうなればある程度町の望むスペースとかつくることのできることに近づくとお思いますし、逆に、これ丸ごと全部町が負担しなければならなくなるとすると、今度はそれが削って削っていかないととてもじゃないけれども建てられないみ

たいな感じになるのかなと思うんですが、そんな感覚で当たっていますか。

○永末厚二委員長 総務課長。

○増田喜一総務課長 PFIについては今まさに検討中なんですけれども、先日の研修会というんでしょうか、リモートで配信をみさせていただきまして、改めてその難しさと、うちが今、実績のある業者にサウンディングもかける考えでおるんですけれども、そういったところを先日その講義の中で先生がおっしゃったような注意点も含めて、しっかり勉強も含めて検討したいと。業務委託の中に入っておりますので、検討していい方向に持っていければと考えております。

以上です。

○永末厚二委員長 山野委員。

○山野智彦委員 ぜひ広くサウンディングしていただいて、少しでも町の負担が軽くできるようにしていただきたいと思います。

ちょっとしつこく言っている理由は、この日本設計さんが桶川市役所をつくった業者なんですけれども、桶川市民からの評判というのが必ずしもよくないところが多々あって、多分、市側としては十分自信を持ってやられたんだと思うんですけれども、そういう意見も実はあるので、日本設計でも少し幅広で考えてもらわないと、全部自治体でつくる方式にそのまま走っていかれると意外に評判を落とすところがある、そのちょっと懸念があるものですかからお伝えさせていただきました。

ありがとうございました。

○永末厚二委員長 答弁はいいですね。

ほかにございますか。

高橋委員。

○高橋まゆみ委員 お願いします。

この図面を見ますと、駐車場のスペースなんですけれども、大分台数が少なく感じるんですけれども、こちらの点についてはいかがでしょうか。

○永末厚二委員長 総務課長。

○増田喜一総務課長 細かい点はまさにこれからなんですけど、今この図面のイメージといたしましては、駐車場スペースは大体100台ぐらい止められる台数で、面積的にはそれぐらい止められるのではないかとということで、この絵を描かせていただいております。

○永末厚二委員長 高橋委員。

○高橋まゆみ委員 そうしますと、保健センターとか観光協会などが入った場合に、今よりも、あとシルバー人材センターなどが入ると、車の台数が増えると思うんですね。来庁者の車の台数と、あと職員は今、伊奈中学校に止めていると思うんですが、そういうことも考慮して100台もあれば足りるだろうというお考えでしょうか。

○永末厚二委員長 総務課長。

○増田喜一総務課長 この新庁舎及び周辺施設を利用される方は、おおむね100台ぐらいあれば来庁者の方にはご迷惑かけないのかなという考えでおりますが、今ご質問にありました職員のスペースはご指摘のとおり足りませんので、それはこの後検討する課題と思っております。

○永末厚二委員長 高橋委員。

○高橋まゆみ委員 駐車場棟というか、そういうものを建てるというお考えは今のところはゼロということでしょうか。

○永末厚二委員長 総務課長。

○増田喜一総務課長 先日、若手職員からの意見にも立体駐車場があるといいというような意見はありましたので、検討すべき要素の一つではありますけれども、逆にデメリットとしましては、コストが非常にかかる。面整備だけではなくりますので、そこはこれからの部分かなと思っております。

○永末厚二委員長 高橋委員。

○高橋まゆみ委員 コストかかると思うんですけれども、もし例えば今後台数が足りなくなったということになった場合、また土地をお借りするという形になります。あとは駐車場棟を建てる、メリットとしては、雪かきが十分、雪かきってすごく大変だと思うんですよ。そういう手間とかもなくなるし、またいろんなことにも利用もできると思うんですね。例えば、今、別棟で倉庫とかシルバー人材センター、これも一緒にして駐車場棟として建てるという案もいいかなと思って、意見として述べさせていただきました。

○永末厚二委員長 よろしいですか。答弁いいですね。

ほかにございませんか。

青木委員。

○青木久男委員 そうしますと、今日のこの会議で私たちが知ったのは、東庁舎は残さないということと、延べ床面積が若干1,000平米ほど広がるということ、大まかな設計の金額が示されたこと。

それで、このB案ですけれども、このB案は1と2とどっちかを選択しなくちゃいけないんですけれども、これはもう決まっちゃっているんでしょうか。それとも提案はされているんでしょうか、我々に。

○永末厚二委員長 総務課長。

○増田喜一総務課長 資料1では、B案でB1とB2と複数示させていただきましたけれども、こちらのもう一つの資料で、この新庁舎に複合する施設は、図書館、保健センター、児童館、観光協会ということで、少し複合化に幅を持たせて新庁舎の中に取り込みたいということでございますので、基本はこのB2のイメージで受け止めていただければと思います。B2のイメージで。ただ、その計算コストというのは、この資料1の数値でございます。

○永末厚二委員長 青木委員。

○青木久男委員 この見方を勘違いしてしまっていて、この案はB2ですね。それで、B1ですと、同じようなこの5階建ての建物があったとすると、そこには図書館とかそれは入らないということなんですか。

○永末厚二委員長 総務課長。

○増田喜一総務課長 説明しておりませんでした。

資料1の上のところに、すこし小さいんですけれども、表の上に断面図が書いてございまして、B1案は、仮に図書館のスペースだけを入れたとするとこのくらいの大きさではないかと。B2は、今のA3の資料のとおり、もう少し複合化するものを増やした場合ということで、中に入れるものは、先ほど申しあげました幾つかの機能を取り込みたいと考えておりますので、B2で進めてまいりたいということでございます。

○永末厚二委員長 青木委員。

○青木久男委員 ちょっと金額が高いのがネックですけれども、分かりました。

そうしますと、B1案「の延べ床面積とB2案の新庁舎の話ですけれども、保健センターとか入ったのでは面積が違うんですか。

○永末厚二委員長 総務課長。

○増田喜一総務課長 表の一番上の平面図すぐ下の項目に、新庁舎の延べ床面積という欄がございます。すこし小さくて恐縮ですが、B1案は9,500平米、平面図のすぐ下のところですね。B2案は1万550平米ということで、面積が1,050平米ほど増えてございます。この1,050平米の内訳が、保健センター600平米、児童館400平米、観光協会50平米の計の1,050平米を足しているという計算式になっております。

○永末厚二委員長 青木委員。

○青木久男委員 B 2 案は多少庁舎がにぎやかで、あるいは使い勝手が、住民の方があっち行ったりこっち行ったりというのはもうやめてほしいという意見が多いですからね。分かりました。どちらかという、このB 2案に決定しているんですか、これは。気持ち的には。

○永末厚二委員長 総務課長。

○増田喜一総務課長 B 1 と B 2 案はコスト計算を比較するために設定したものでございますが、今回ご報告させていただいたとおり、東庁舎を解体して進める点と、新庁舎に入れる機能としましては、図書館のスペース、保健センターのスペース、児童館のスペース、あと観光協会のスペース、これを取り込んでにぎわいづくりに向けた複合化としたいということでございますので、このB 2案の方針というんですか、B 2案の考え方で進めさせていただきたいということでございます。

○永末厚二委員長 青木委員。

○青木久男委員 分かりました。

○永末厚二委員長 ほかにございませんか。

上野克也委員。

○上野克也委員 別棟に入る部分なんですけれども、シルバー人材センターとか、現在ある部分は、あれはどういう活用になるんですかね。空き家というか、出てしまいますから、それを教えてください。

○永末厚二委員長 総務課長。

○増田喜一総務課長 この2枚目のA 3の資料の右側の平面図のところに、右下に商工会館ですとかシルバー人材センターがございます。旧新都市建設事務所が今のシルバー人材センターが入っている建物なんですけれども、まずそもそも下が借地でございます。県の業務が終わった後に町が譲り受けたものだ聞いております。かなり古くなっておりまして、耐震の問題もありますし、老朽化しておりますので、町としては、地主の関係もありますからそこは今後検討なんですけど、老朽化していますので、これを機会に撤去して、基本的には地主との協議もありますけれども、借地はお返しするというような町の方針がございます。

○永末厚二委員長 上野克也委員。

○上野克也委員 そうすると、解体して更地にして返却する。それで、今あるそのシルバー人材センターの前に駐車場とか何かありますよね。あれはどうなんですか。

○永末厚二委員長 総務課長。

○増田喜一総務課長 その部分も借地でございますので、もちろん地主とのご相談もありますが、基本的には借地はお返しするか、逆に必要であれば購入をご相談させていただくという立場でございますので、そこは地主とのご相談、意向とか土地活用のお考えもあるかもしれませんので、地主と相談してまいりたいと思います。

○永末厚二委員長 上野克也委員。

○上野克也委員 分かりました。

○永末厚二委員長 よろしいですか。

副委員長。

○五味雅美副委員長 すみません、1点だけ。

そうすると、教育センターは新庁舎に入ってくるということでよろしいんですね。

○永末厚二委員長 企画総務統括監。

○藤倉修一企画総務統括監 教育センターにつきましては、教育センターに通う児童・生徒の部分も含めて検討していく部分になるかと考えております。というのは、やはりできるだけ教育センターに実際に通う子供たちは、なるべく人の出入りの多くないところがよいというお話もございまして、庁舎と一緒にするのは少し難しいかなというところがございます。

したがって、それにつきましては別途、教育委員会との協議もありますので、進めさせていただきたいと考えているところです。今のところ、新庁舎に入る施設にはなってございません。

○永末厚二委員長 副委員長。

○五味雅美副委員長 分かりました。とにかく新庁舎に入らないと。返すとすれば新しいところにどこか探すしかないわけですね。そういうことで考えていくということですね。

○永末厚二委員長 企画総務統括監。

○藤倉修一企画総務統括監 そうですね。また、少し庁舎に町の施設を統合していきますので、空くスペースも出てくるかと思っておりますので、そちらも含めて検討させていただきたいと考えております。

○永末厚二委員長 副委員長。

○五味雅美副委員長 例えば総合センターとかということですかね。それもあるいは図書館がどうなのか分かりませんがいいです。分かりました。ありがとうございます。

○永末厚二委員長 ほかにございませんか。

議長。

○村山正弘議長 この構想の中で、今、五味委員がちょっと触れたんですけれども、図書館がこっちへ来ると、図書館の施設自体はどういう活用を一連の中で考えるとかというところを。総合センターの空きスペースはいろいろ考えられるんだけど、図書館が空っぽになったらどうなるんだろう。

○永末厚二委員長 企画総務統括監。

○藤倉修一企画総務統括監 図書館につきましては半分が借地になっておりまして、基本的には借地の部分は取り壊してお返ししたいと考えているところでございます。

○永末厚二委員長 ほかにございませんか。

〔発言する人なし〕

○永末厚二委員長 ないようでしたら、お諮りをします。

正午が近づいていますけれども、この後、1つ議題が残っていますが、執行部も午後の予定があるようですから、このまま続けさせていただきたいと思いますが、いかがでしょうか。

〔「異議なし」と言う人あり〕

○永末厚二委員長 それでは、議事を進めさせていただきます。

次に、議会のコンセプトについてですが、資料を添付しておりますが、私どもの新庁舎建設特別委員会の議会側の委員だけで検討をしてみました。宿題をいただきましたので、そのように検討してみました。まずA4の紙の1番に書いてありますように、議会のコンセプトについては、正副議長室、議会事務局、応接、それから控室などのセキュリティーが必要な部分を除き、議場などを中心として、町民に開かれた多目的・多機能な議会フロア、開かれた議会、町民に身近で親しみを感じることができる議会の実現、町民とともに共有するフレキシブルな議会フロア、多方面に配慮をしたぬくもりのある議場、この5点にまとめましたけれども、ほか、議論がありましたので、これを統一してまとめることは致さないということの結論に至りました。したがって、基本構想にはこの中の事項をおもんばかっていたら、ぜひ入れていただきたいと。

なお、フロアとしたのは、これに基づいて基本構想の中で附帯設備をこの議場付近につくるのは、特に計画の中で検討していただければということでございますので、よろしく願いします。

それから、議会棟の機能や特徴、具体的な内容については、これもまとめて書いてありますけれども、これをどれにするかということはまとめていませんので、各会派から、なお委員から出された意見を羅列しておりますので、別紙のとおり、ご説明はしませんけれども、

このことを配慮していただければと思います。

それから、東館の扱いについては、基本的にはコストがかかり過ぎて利用に値しないのではないかという議論が多かったんですが、少数意見として、そこに書いてありますように、民間のアイデアを使うとかそういうことを主張する会派もありましたので、一応ここに追記をしておきましたので、そちらでお伺いいただければと思います。

それから、全体機能などについても別紙にまとめてありますけれども、この別紙の中身を吟味いただいて、ぜひ議員の意見として採用できるものについては採用していただき、できないものについてはその理由について付していただきたい、こういう具合に思いますので、よろしくをお願いします。

以上が私の報告ですけれども、各委員の中から補足的に執行部にご意見のある方はどうぞ。
武藤委員。

○武藤倫雄委員 先日の委員会の中で、この列挙してある中で、控室が統一的な見解がないと、ばらつきがあるということで、先日取りまとめた内容を委員長からお伝えいただきたいと思うんですが。

○永末厚二委員長 控室については、個別の控室が欲しいという意見もありましたが、今みたいな会派が一斉に集まって議論できる場も欲しいので、ああいう形式を取りながら、できれば個人の周りに、個人のデスクみたいなものができればいいなという意見もありましたし、会議室ですね、会派が特別に会議をするような特別な会議室というんですか、フレキシブルな会議室が2つ以上あれば欲しいなという意見がありましたので、控室について付しておきます。

ほかにありませんか。

[発言する人なし]

○永末厚二委員長 なければ、執行部から質問があれば。ございませんか。

[発言する人なし]

○永末厚二委員長 それでは、次に、次回の委員会ですけれども、今日は途中経過として、東庁舎の関係も含めて進捗状況を説明していただきました。なおかつ、私どもからは、議会のコンセプトについてご返事させていただきました。基本構想ができるまでにもう一度ぐらいは会議が開けるでしょうか。執行部の見解を伺います。

総務課長。

○増田喜一総務課長 少し方向性が明確になってきましたので、進めさせていただきます、

最終的には取りまとめた上でパブリックコメントをかける考えでございますので、以前もご指摘いただきましたけれども、事前にこちらの委員会にその概要といたしますか、その内容をご報告させていただいた上でパブリックコメントという手続を取って、最後取りまとめたというような考えでございますので、時期がまだ今の時点ではいつというのはあれなんです、5月中旬ぐらいにはパブコメに入りたいと思っておりますので、その前には日程を調整させていただければと考えております。

○永末厚二委員長 それでは、先ほど報告がありましたように、基本構想が確定する前にもう一度この委員会を開催するという事をお約束いただきましたので、そのような扱いでよろしいでしょうか。

〔発言する人なし〕

○永末厚二委員長 それでは、その他、執行部から、委員から、特にあれば。ございませんか。

〔発言する人なし〕

○永末厚二委員長 なければ、閉会をする前に、副委員長からご挨拶いただきます。

○五味雅美副委員長 お疲れさまでした。

執行部の方、非常に大変だったと思いますけれども、これからまたますます大変になってくると思いますので、よろしくお願ひしたいと思ひます。お疲れさまでした。

○永末厚二委員長 これをもちまして閉会とします。

お疲れさまでした。

閉会 午後 零時02分